

Elazzio

SEAT COVER



MAZDA
MAZDA3 SEDAN

専用シートカバー取付説明書

7062/7063

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

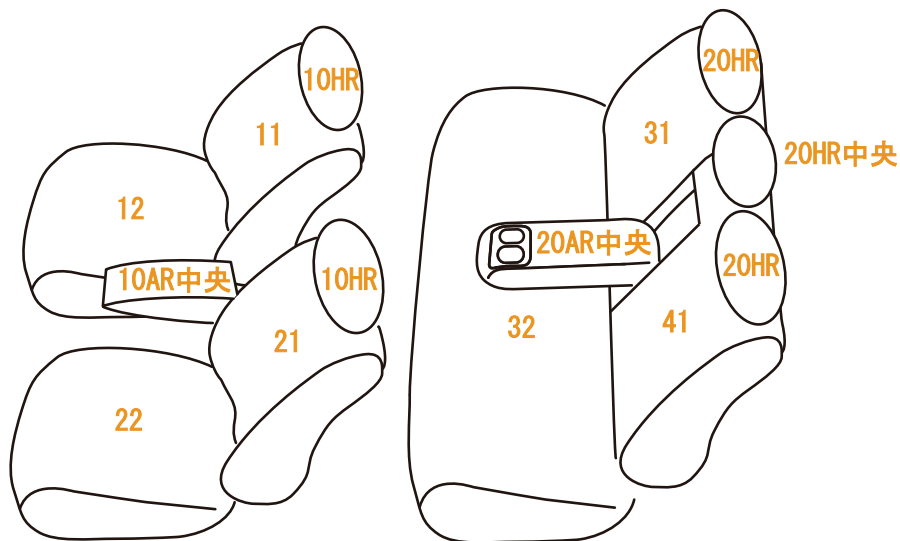
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P~2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P~4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P~7P
1 列目背もたれの装着方法	…> 8P~9P
2 列目座面の装着方法	…> 10P~13P
2 列目背もたれ・アームレストの装着方法	…> 14P~20P
2 列目座面の戻し方	…> 21P~22P
ヘッドレストの装着方法	…> 23P~24P
コンソールの装着方法	…> 25P~26P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 27P~28P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- 1 ソケットレンチ(ソケット : 14mm) ※22ページを確認していただき、必要に応じて用意して下さい
- 2 プラスドライバー(No. 2)
- 3 両面テープ(薄いタイプ) ※1列目コンソールカバーの装着の際、必要に応じて準備して下さい
- 4 クラッツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

※当説明書ではシート形状が同様のMAZDA3 ファストバックのシート画像を一部使用しています。
また、パワーシートでの説明となっておりますが、手動シートも同様に取り付けます。



- 1 シートを一番高い状態に調整してカバーの装着を行います。



- 4 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。
この際、生地を引っ張りすぎると2番で合わせたカバーとシートのラインがずれるので、注意して下さい。



- 2 カバーを図のように裏返してシートのラインに合わせます。



- 5 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、生地が入り込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 6 シートの付け根部分の生地にゴムが付いています。



- 7 ゴムとゴムが付いている生地の手をシートの隙間に入れ込みます。シートの形状に沿わせるようにして、生地を入れ込んで下さい。



- 10 シートの裏側から引き出したゴム同士を共に寄せ合い、付属の金属フックでつなぐように固定します。



- 8 シート内側も同様に、ゴムとゴムの付いた生地の手をシートの隙間に入れ込みます。



- 11 シートの外側のカバーの端に固定部材が付いています。固定部材を生地と一緒にシートの隙間に入れ込み、プラスチック部のフチに引っ掛けるようにして固定します。



- 9 シートの背面からシートの裏側を写した図です。
7番・8番で入れ込んだゴムをシートの裏側から引き出します。



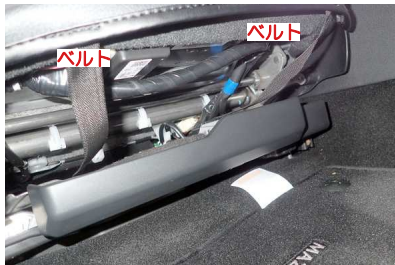
- 12 シートの内側も同様に、端に固定部材の付いた生地をシートの隙間に入れ込み固定します。



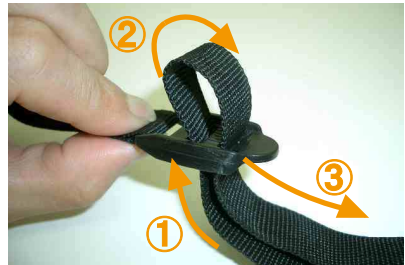
- 13 カバーの前側に付いている2本のベルトをシートの裏側を通してシートの背面へ入れ込みます。



- 16 引き出したベルトを4番で引き出した生地の端に付いているバックルに通して固定します。



- 14 シート裏には色々な部品があります。ベルトは、シート裏の部品にできるだけ干渉しない様に、部品の上側を通して下さい。



- 17 ベルトは①~③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端を通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。



- 15 シートの背面側からベルトを引き出します。



- 18 カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。助手席も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法



注意

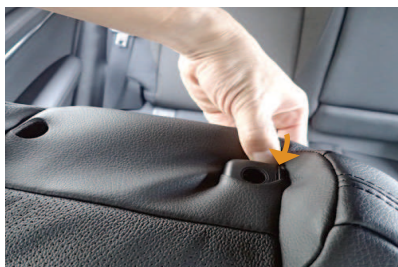
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 カバーの背面に付いているファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせカバーをシート全体にかぶせます。



- 2 シートの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。
この際、図の点線部分の突起したシート形状にしっかりと生地が沿うようにして、シートをかぶせて下さい。ある程度カバーを装着した後では、調整が難しくなります。



- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。
※4番の赤字の説明を先に確認して下さい。



- 4 生地の伸びを利用して台座を取り出します。
※1列目背もたれでは、ヘッドレストのロックを解除する台座のボタン部分と、シートの突起している部分の隙間が大変狭いためカバーを装着することで台座のボタンが常に押された状態になる場合があります。この状態ではヘッドレストがしっかり固定できずに危険です。カバーの装着位置を調整して、ボタンを押していない状態になるように調整して下さい。
調整してもロックを解除するボタンが押されたままの状態になる場合は、ヘッドレストの台座をカバーの加工穴に通さずに使用して下さい。穴位置を合わせていればヘッドレストのシャフトも通せます。ヘッドレストを固定することも問題なくできるようになります。この場合、ヘッドレストのロックを解除するボタンは、カバーの上から押すようになります。

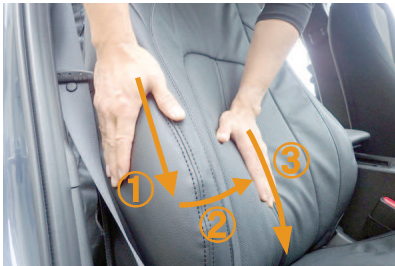


- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。

8P▶



7 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を6番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



8 カバー背面の両端に付いているファスナーを、生地を寄せ合いながら慎重に閉じます。この際10番の点に注意して作業を行って下さい。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。ファスナーを閉じる際、ベンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



9 6番で引き出した生地と、カバーの背面下部分をマジックテープで固定します。



注意

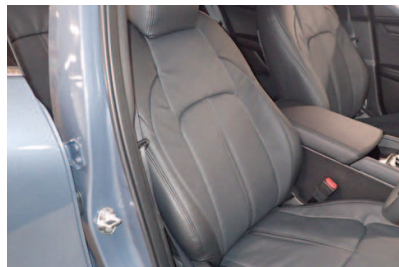
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



10 シートの背面は図の手で押さえている位置がくぼんでいます。シートカバーの固定方法では、このくぼみを出すことが困難な為多少浮きます。生地の浮きが斜めに出ている場合は8番のファスナーを閉める作業が影響している場合があります。ファスナーを左右均等に引き下げることで改善されます。



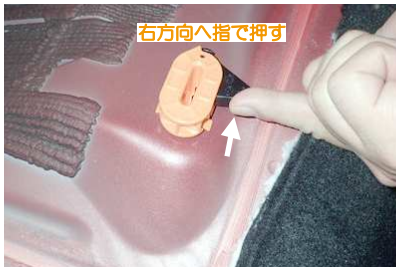
11 カバーの背面下に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。フックの固定は特に指定の位置はありません。ゴムが適度に引っ張られる位置に引っ掛けて固定して下さい。



12 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 3

…> 2列目座面の装着方法



- 1 座面を車体から外します。
図は座面裏のフックの固定を解除しているところですが、既にシートが外れた状態ですが、フックの解除方法を先に確認して下さい。
図のように受け側の先端にあるつまみ部分を、向かって右側へ押すことでフックのロックが解除されます。



- 2 実際の作業をしている図です。
フックはシートに隠れて見えません。シートの裏に指を入れて手探りで作業になります。**1番**を参考にロックを解除して、シートを軽く持ち上げるとフックが外れます。
※ロックが解除できる前にシートを持ち上げると**1番**のつまみが固くなりロックの解除が難しくなるので、注意して下さい。
フックの位置は**3番**を参考にして下さい。



- 3 運転席側、助手席側共にフックを外すと図のようにシートの前側を持ち上げられる状態になります。フックは図の赤丸印の位置にあります。
矢印の先にも、シート付け根側の中央付近に固定されているフックがあります。



- 4 付け根側のフックを外します。
シート中央の付け根部分を**①**グッと押し込み、その状態のまま**②**上へ持ち上げることで、シート付け根側のフックが外れます。
※この方法で外れない場合は、22ページ7番から説明している、助手席側背もたれの取り外しを行うと、作業が行いやすくなります。



- 5 付け根側のフックが外れると、座面が車体から外れます。
シートは作業のできるスペースへ運び出して下さい。シートを運び出す際は車体に傷などを付けないように、慎重に作業を行って下さい。



- 6 赤枠で囲んでいるチャイルドシート固定用フックのキャップを外します。
※この作業はISOFIX対応のチャイルドシートを使用されない方には必要ありません。また、カバーを装着した後もキャップを外すことは可能です。



- 7 シートカバーを装着していきます。シートの先端部分に引っ掛けるようにして、シートの裏側まで覆うようにかぶせていきます。



- 10 シートベルトバックルの収納部にも生地を馴染ませるようにしてカバーをかぶせます。



- 8 運転席側をかぶせたら、そこを起点に助手席側もかぶせて、シート全体にカバーをかぶせます。



- 11 カバーを固定する前の状態です。この状態からシートとカバーのラインを合わせるように調整して下さい。



- 9 シートの付け根部分に、生地を巻き込むようにしてカバーをかぶせます。



- 12 シートを裏返して前後のベルト6本を固定します。



- 13 カバーの両端から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



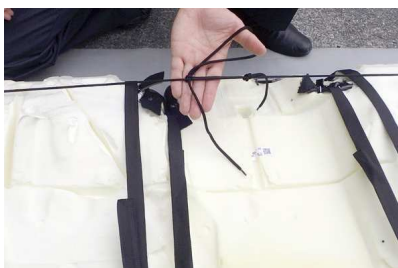
- 16 ヒモを結び留めたら、シート裏に回っている生地がしっかりシートの裏を覆っているか確認して下さい。シートの側面辺りで生地が反り返っている場合があります。その場合はシートの裏へ生地が来るように調整して下さい。



- 14 作った輪にもう片側のヒモを通します。



- 17 シートベルトバックルを通すシートのフチ部分から、カバーの端に付いているゴムを引き出します。ゴムは運転席側・助手席側にそれぞれ付いています。



- 15 通したヒモを引くことでカバーの前・左右が引き絞られます。ヒモを緩まないように結び留めます。



- 18 ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 19 金属フックはシートの付け根側に引っ張りシート裏のスポンジ部分からうっすらと見えている金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 22 シート中央の付け根部分の後ろ側も同様にカバーの裏側に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 20 ゴムは図のように固定されます。



- 23 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。
シートは2列目背もたれカバーを装着後、車体に戻します。シートを車体に戻す方法は21ページ・22ページの『2列目座面の戻し方』を確認して下さい。



- 21 シートの付け根部分の後ろ側です。カバーの裏側に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。
※マジックテープが貼り付くシート表皮側は、カバーの生地より範囲が狭くなっているため、あまり強固に固定できる部分はありません。予めご了承ください。

Step 4 …→ 2列目背もたれ・アームレストの装着方法

2列目背もたれは形状が複雑な助手席側で説明を行っています。運転席側も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

2列目背もたれは必要に応じてシートを車体から取り外します。21ページ・22ページの『2列目座面の戻し方』を確認していただき、背もたれを車体から外される場合は、外した状態でカバーの装着を行った方が作業は行いやすくなります。



- 1 トランクを開きトランクの上側にあるレバーを引いて、背もたれのロックを解除します。



- 4 ※カバーを装着していきます。座面シートを外しているので、シートの表面が直接車体の金属にあたり、シート表皮に傷が入る恐れがあります。座面を外した車体の金属部分には、布などを敷いておくことをお勧めします。

カバー内側面のファスナーを開いた状態にして、中央席用のシートベルトをかわしながら、シート全体にカバーをかぶせます。



- 2 シートの外側に付いているシートベルトのガイドからシートベルトを抜き出します。



- 5 アームレストをカバーの加工穴に通します。



- 3 シートベルトのガイドを固定しているネジを、ドライバーを使用して締めます。ネジは完全に外してしまうと戻し辛くなるので、緩めるだけにして下さい。



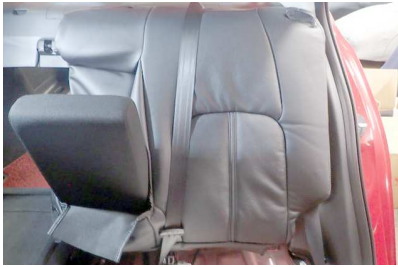
- 6 シートベルトのガイドを取り出します。まずガイドの外側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 7 ガイド全体を取り出します。
強引に作業を行うとガイドが破損する恐れがあるので、作業は慎重に行ってください。



- 10 シートベルトガイドのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 8 カバーをシート全体にかぶせて、シートのラインに合わせるように整えます。
アームレスト収納部の上部分など特にしっかりとシートの形状に生地を馴染ませて下さい。



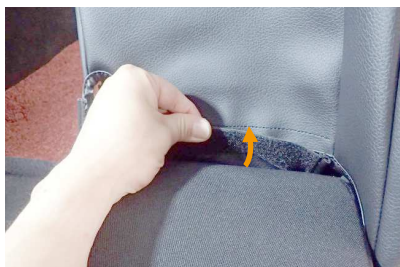
- 11 生地を挟み込み、緩めていたネジを締め直します。



- 9 ヘッドレストの台座を全て取り出します。



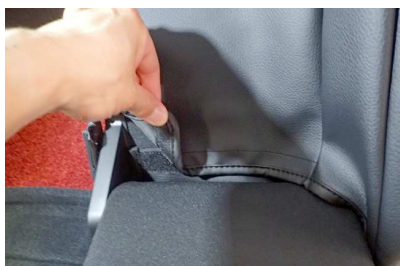
- 12 アームレストの下から端にマジックテープの付いた生地を入れ込みます。



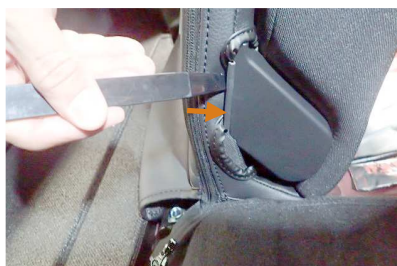
- 13 アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。



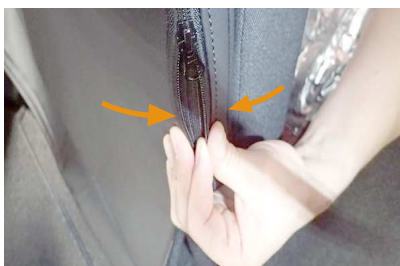
- 16 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



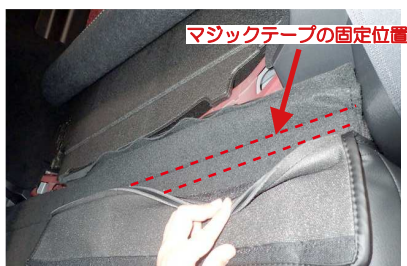
- 14 引き出した生地に付いているマジックテープと、アームレスト収納部下側の生地に付いているマジックテープを固定します。



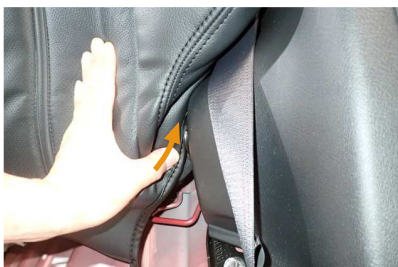
- 17 シートの内側にあるアームレストの軸部分のプラスチックパーツのフチに、端に固定部材の付いた生地をヘラなどを使用して入れ込みます。



- 15 カバーの内側面に付いているファスナーを生地を寄せ合いながら慎重に閉じます。



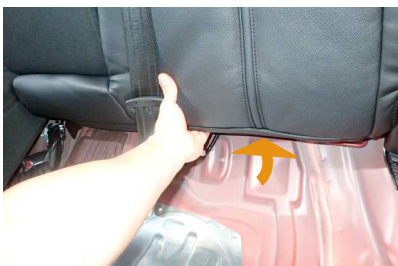
- 18 カバー背面の下側に2本のマジックテープが付いています。そのうち手前のマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 19 シート外側の付け根部分です。こちらはシートのすぐ横に金属のパーツがあります。生地が金属パーツに引っ掛からないように入れ込みます。



- 22 シート背面下側の純正シート地をめくり上げます。



- 20 シートの下側から生地を入れ込みます。



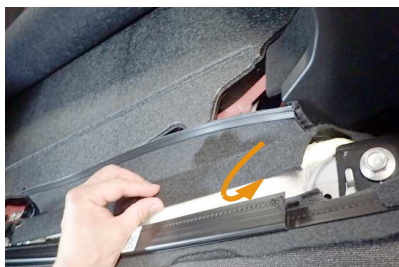
- 23 生地をめくりあげると純正のシート地を固定しているフックが出てきます。純正シート地を固定しているプラスチックパーツの固定を外します。シート背面下側のフック状のプラスチックパーツから、板状のプラスチックパーツを抜き出すように外していきます。外し辛い場合はヘラなどを使用して下さい。



- 21 シートを倒してシートの背面から生地を引き出します。この際トランクルームのボードが引っ掛かるようであれば、作業の邪魔にならないように外しておいて下さい。



- 24 シート下側の純正シート地の固定を完全に外した状態です。



- 25 カバーの固定の妨げにならないように、固定を外した純正シート地の板状のプラスチックパーツ部分を折りたたみます。



- 26 純正シート地のフック状のプラスチックパーツと、21番で引き出した生地の上に付いている板状のプラスチックパーツを固定します。生地の上を折り返して、生地と一緒にカバーのプラスチックパーツを純正シート地のフック状のプラスチックパーツに入れ込みます。



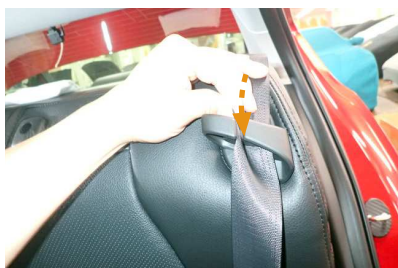
- 27 カバーのプラスチックパーツを全て入れ込むと図のようになります。
※プラスチックパーツの入れ込みが浅いと固定が外れてくる原因になります。しっかりと入れ込んで下さい。



- 28 27番で固定したカバーの生地の上側に、マジックテープが付いています。このマジックテープに22番でめくり上げた純正シート地のマジックテープを貼り付けて固定します。



- 29 カバー背面下側の一番端に付いているマジックテープを、直接シートの端に貼り付けて固定します。



- 30 2番で外したシートベルトを、シートベルトのガイドに通します。

2列目アームレストの装着方法



- 31 アームレストにカバーを装着します。アームレストを斜めに倒します。カバーの入口を裏返して、アームレストのラインに合わせて、先端までしっかりとかぶせます。



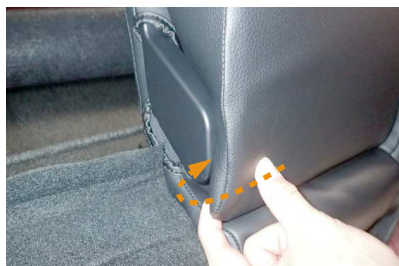
- 32 アームレスト全体にカバーをかぶせます。



- 33 アームレストの下側から端にプラスチックパーツの付いた生地を入れ込みます。



- 34 アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。
※この際カバーの端に付いているプラスチックパーツ部分のみを引っ張ると、生地が裂ける恐れがあるので、注意して下さい。



- 35 アームレスト側面の軸部分です。生地がしっかりと図の角になっている部分を覆うようにかぶせます。



- 36 アームレストの付け根部分でブラックを固定します。



- 37 ブラフックの固定方法は、フック状のプラスチックパーツに板状のプラスチックパーツを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



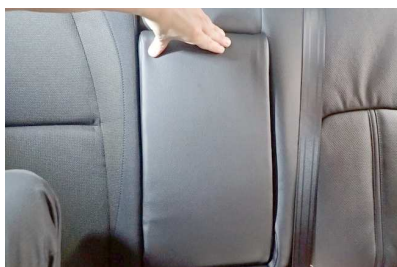
- 38 ブラフックを固定すると図のようになります。



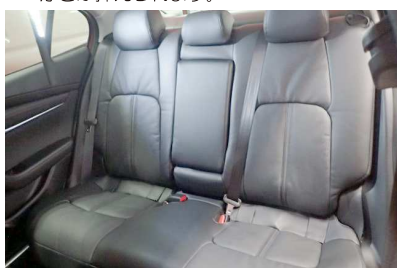
- 39 ドリンクホルダーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 40 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



- 41 助手席側背もたれのアームレストの収納部は、カバーを装着後すぐには生地が浮きやすくなっています。図のようにアームレストをしっかりと収納した状態でしばらく置いていただくと、生地が型付き、生地の浮きが抑えられます。



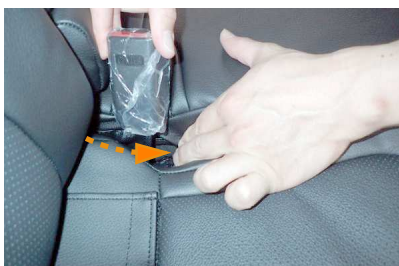
- 42 運転席側背もたれも一部形状は異なりますが、同様の固定方法でカバーの装着を行います。カバーのラインを整えて、2列目背もたれ・アームレストの完成です。

Step 5

…→ 2列目座面の戻し方



- 1 座面を車体に戻します。シートを車内へ運び込む際は、車体に傷などを付けないように慎重に作業を行ってください。



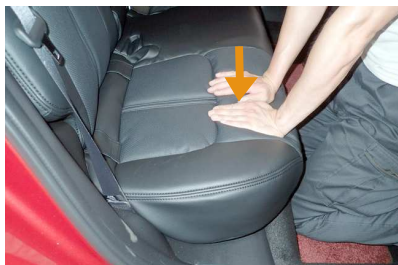
- 2 中央席のシートベルトバックルのみ、シートの隙間を通して表側に出ている状態にします



- 3 運転席側・助手席側のシートベルトバックルを、シートの裏からバックル収納部の位置に合わせます。



- 4 10ページ4番で外したシート中央のフックを固定します。図のように体全体でシートを押し込み、シート裏から手を入れてフックの位置を確認しながら作業を行います。
※この方法でフックが固定できない場合は7番からの説明を確認して下さい。

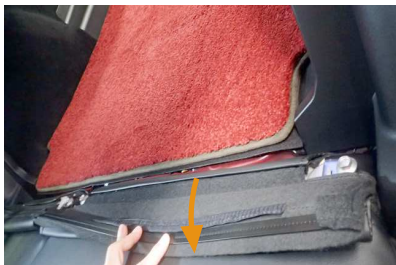


- 5 シート前側のフックを、車体の受け側の位置と合わせて、上から押し込み固定します。



- 6 運転席側・助手席側のシートベルトバックルにカバーの生地が覆っている場合は、ヘラなどでバックルの周りの生地を奥へと入れ込み、シートベルトバックルをしっかりと出します。

2列目背もたれの外し方



- 7 2列目座面を車体から外したり、カバー装着後、元に戻す作業が難しい場合は、2列目助手席側背もたれを車体から外すと、座面の脱着作業がかなり容易になります。まずシートを倒した状態で、シート背面下側の生地をめくり上げます。



- 8 生地をめくり上げると両端に背もたれを固定しているボルトが出てきます。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。
※シートを元に戻すことも考えて、固定されている状態もしっかり確認した上で作業を行ってください。



- 9 両端のボルトを外すとシートが車体から外れます。まずシートを手前側に引き抜きます。



- 10 手前に引いたシートを持ち上げてトランク側に移動させます。この際シート外側のシートベルトは、ガイドから外しておいて下さい。(14ページ2番参照)
シートは車外へ運び出していただいても構いません。その際は、車体に傷などを付けないように慎重に作業を行ってください。



- 11 助手席側の背もたれを外したことで、中央のフックの位置も確認しながら作業することができるようになります。
※運転席側背もたれも同様の方法でシートを外すことができます。しかし助手席側背もたれのみ外すだけで、充分座面の脱着はできるようになります。



- 12 シートを車体に戻す際にカバーがずれることがあります。再度カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step 6

…→ ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



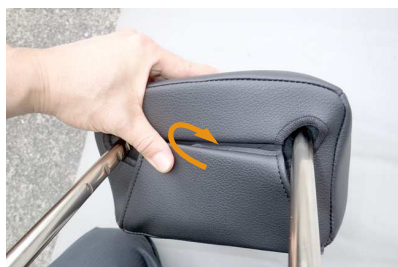
- 1 1列目のヘッドレストです。カバーの入り口を図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせて、先端までしっかりとかぶせます。カバーは平らなブラフックが付いている方が前側になります。



- 2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側のマジックテープを中央へ寄せ合い固定します。



- 4 ヘッドレストの裏でブラフックを固定します。



- 5 ブラフックの固定方法は、フック状のプラスチックパーツに板状のプラスチックパーツを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 10 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏のマジックテープを中央へ寄せ合い固定します。

2列目ヘッドレスト



- 8 2列目のヘッドレストです。ヘッドレストの先端から後ろ側へカバーをかぶせていきます。
※先端部分の生地が張るようにしないと後ろ側までカバーがかぶりづらくなるので、注意して下さい。



- 11 ブラフックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。
2列目中央のヘッドレストも一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 7

…→ コンソールの装着方法

コンソールはカバーを装着する前から質感の高いものになっている為、カバーの装着はお好みに応じて行って下さい。



- 1 コンソールのフタにカバーをかぶせます。図のようにフタの側面に薄手の両面テープを使用することでカバーの装着が行い易くなります。



- 4 側面に両面テープを使用している場合は、コンソールのラインに合わせてカバーを両面テープで仮留めます。この際カバーがずれていると、ずれた状態のままカバーが固定されてしまうので、注意して下さい。



- 2 フタを開けるとネジが4本あります。4本のネジをドライバーを使用して緩めます。この際ネジを完全に外してしまう必要はありません。



- 5 コンソールのフタとフタの裏側のプラスチック部分との隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 3 フタの形状に合わせてカバーをかぶせます。



- 6 生地を前側から後ろ側へと徐々に入れ込んでいきます。



- 7 コンソールの後ろ側の図の生地（縫い目部分）は、生地を入れ込むのが一番きつくなっています。生地に傷を付けないように、慎重に作業を行って下さい。



- 10 コンソールのフタの前側は図のようになります。



- 8 生地を入れ込んでいるとコンソール裏のツメの固定が外れる場合があります。その場合は全ての生地を入れ込み、図のようにツメの外れた辺りを押し込み固定します。



- 11 コンソールのフタの後ろ側は図のようになります。



- 9 緩めていたネジを全て締め直します。



- 12 カバーのラインを整えて、コンソールの完成です。

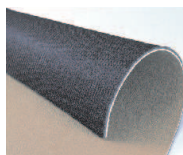


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816